

---

Mee ~ ミイ ~

みーねこ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Me〜ミイ〜

### 【Nコード】

N1237J

### 【作者名】

みーねこ

### 【あらすじ】

あなたに会いたい……。憧れを胸に、ポスターを眺める私は猫。

## はじまり（前書き）

この作品を書いたのは、数年前です。書き終わった後、奇跡が起きました。

心の底から願えば、引き寄せられる運命もあるのだと思いました…。

## はじまり

私は一目見て、動けなくなりました。  
あなたは、とてもきれいな瞳をしていました。  
きれいで、それでいて強い輝きを放っていました。  
だから、私は毎日そこへ行きました。  
そこへ行けば、あなたに逢えるから。

今日も私は、あなたに逢いに行きます。  
行き交う人々の間をすり抜けて。  
私はだんだん足早になりました。  
ほら、見えてきた。

今日もあなたは、同じ場所で同じ瞳を私に向けてくれています。  
私はずっと、ここであなたを眺めていました。  
留まったままのあなたを。

たくさんの方が、あなたの前を通り過ぎていきました。  
立ち止まる人はいません。

「やっぱ格好いいな、キキヨウは」  
いえ、いました。

私の隣に、女の子が立ち止まったのです。  
私を見上げました。

細くて長い脚が、ヒラヒラした傘のようなスカートから伸びています。  
ます。

女の子の着ている服は、よく見かけるものでした。紺色のシンプ  
ルなものです。

女の子は、私と同じようにずっとあなたを見ていました。  
しばらくして、突然後ろで声がしました。

私は驚いて、慌てて振り向きましたが、それは私に向けられた声

ではありませんでした。

「真希！何してるの？」

「えへへ、これ、眺めてた」

「ああ、“KIKYO”のポスター？好きだよね、あんたも  
「憧れの人だもん。世界で一番好き」

ええ、私も！

ああ、いけない。つい声を上げてしまいました。

私はすぐに隠れました。

何をされるかわからないから。

「ねえ、今……」

「何？」

「ううん、何でもない」

「真希、これからカラオケでも行かない？」

「賛成！」

そう言っつて、女の子たちは足早に去っていききました。

私はあなたの前に戻って、またあなたを見つめました。

白い月が、あなたの瞳に映るまで。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1237j/>

---

Mee ~ ミイ ~

2010年10月15日21時13分発行